



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報紙)

東北のかなめ

vol.29
2014.12



陸上自衛隊東北方面隊震災対処訓練「みちのくALERT2014」へ初参加

特集 **—オスプレイ東北初飛来—**

—緊急事態に備えよ—

- ☑ 江渡防衛大臣東北防衛局視察
- ☑ 種市三沢市長へ大臣感謝状
- ☑ 防衛セミナー開催
- ☑ インフォメーション



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

発行元：防衛省東北防衛局広報委員会

(住所：宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15 電話：022-297-8209 ホームページ：<http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>)

陸上自衛隊東北方面隊震災対処訓練「みちのくALERT2014」へ初参加

特集 オスプレイ東北初飛来

オスプレイ東北初飛来



11月6日から9日までの間で実施された、陸上自衛隊東北方面隊震災対処訓練「みちのくALERT(アラート)2014」に在日米海兵隊所属のMV-22オスプレイが参加し、これが東北への初飛来となりました。

みちのくALERT2014は、東日本大震災における災害派遣活動の教訓を踏まえ、宮城県沖地震(M9.0)及びこれによる大規模津波が発生したことを想定し、東北6県52市町村72機関及び米豪軍が参加し、自治体及び関係機関との連携要領を演練し東北方面隊の震災対処能力の向上を図るとともに、自衛隊と米軍及び豪州軍との連携要領の確立を目的に実施された訓練です。

この訓練においてオスプレイは、宮城県気仙沼市大島が、地震とそれに伴う津波により孤立したとの想定の下、水や毛布などの救援物資の輸送や患者搬送を実施しました。

東北防衛局では、オスプレイの訓練参加に関し、地元自治体に対して細やかな情報提供を行うなど、訓練を円滑に実施するため、東北方面隊と連携を密にして対応いたしました。

(表紙の写真は、陸上自衛隊霞目駐屯地に飛来したMV-22オスプレイ)

オスプレイはどのような航空機なのか教えてください。

オスプレイは、ヘリコプターのような垂直離着陸機能と、固定翼機の長所である速さや長い航続距離という両者の利点を持ち合わせた航空機です。回転翼を上へ向けた状態では未バリングが可能となり、前方へ傾けた状態では高速で飛行することができます。

オスプレイの役割・任務を教えてください。

MV-22は、海兵隊の航空部隊の主力として様々な作戦において、人員・物資輸送をはじめとした幅広い活動を従事し、重要な役割を果たしています。

オスプレイの安全性について教えてください。

米政府は、すべての信頼性及び安全性基準を満たすものと判断し、2005年9月にMV-22の量産を承認しました。開発途中においては大きな事故が4回発生しましたが、機能の追加や再設計など事故原因への対策を行い、技術的な問題はクリアされています。

※詳しくは、防衛省ホームページに掲載されています。
(http://www.mod.go.jp/j/approach/ampo/osprey/mv22_pamphlet.pdf)

陸上自衛隊霞目駐屯地で報道公開されたMV-22オスプレイ

東北防衛局震災対処訓練

東北防衛局では、11月6日から7日までの間、陸上自衛隊東北方面隊震災対処訓練「みちのくALERT2014」に合わせ、「東北防衛局震災対処訓練」を実施しました。今回の訓練は、当局の緊急事態等への対応能力の向上のための取り組みの一環として、①震災発生時の当局の役割の検証とその周知、②現状の当局の体制の問題点等の抽出を目的として実施しました。

震災対処訓練では、東日本大震災と同様、発災後速やかに局内に齋藤雅一局長を本部長とした対策本部を設置し、あらかじめ定められた班編制に基づき、それぞれの班員が与えられた訓練課題に対応しました。



自衛隊施設の危険度を判定する技術支援班員



対策本部会議で職員へ指示をする齋藤本部長

また、この間、局長、各部長などが出席する対策本部会議が合計4回開催され、各班からの活動報告や審議事項に対して、本番さながらの検討・議論が行われました。

また、今回の訓練では、新たな試みとして映像伝送装置を用いて、宮城県庁に設置された県対策本部の状況や多賀城駐屯地における危険度判定の様子を対策本部会議中に生中継しました。

今後、当局では、今回の訓練成果を精査し、その問題点等を修正するとともに、繰り返し災害対処訓練を実施し、緊急事態等への対処に積極的に取り組んで参ります。



齋藤本部長へ自衛隊施設の危険度判定を報告する技術支援班長

特集

緊急事態に備えよ

翌週の11月10日には、航空機事故等が万一が発生した場合及びこれに伴う災害等の対処に万全を期するため、「米軍航空機事故対処訓練」を実施しました。

同訓練は、11月10日午前11時30分頃に米空軍三沢基地所属のF-16戦闘機1機が、三沢基地へ帰投中に部品を落下させ、被害が発生したとの想定の下に、防衛本省、当局、三沢防衛事務所職員約110名が参加し行われました。

同訓練では、事故発生後、直ちに現地へ職員を派遣するとともに、局内に航空機事故等緊急対策本部を設置し関係職員を参集させ、通報体制が迅速かつ効果的に機能するかを確認するとともに、対策

本部関係職員が各班毎の業務を実施しました。今回の訓練では、初めて映像伝送装置を用いて、現地から対策本部に被害現場の映像をリアルタイムで転送するなどの業務を実施し、練度の向上に努めました。

訓練終了後、対策本部長である齋藤雅一局長から職員に対し、「このような訓練を繰り返すことによって、経験値を増し、更に練度を上げていくこと。」「各人の業務分担はあるものの、非常時には所掌に関わらず遺漏なく業務ができるように備えること。」などの指導がなされました。

11月21日、三沢市公会堂（青森県三沢市）において、「平成26年度三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会」が開催されました。

同協議会は、三沢飛行場において米軍機・自衛隊機・民間機の航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した際の対処に万全を期すため、昭和54年に発足し、毎年度定例で開催しているもので、今回で37回目の開催となりました。

会議には、当局及び三沢防衛事務所のほか、計25関係機関から約50名が出席し、冒頭に主催側を代表して東北防衛局の平松友和企画部長から挨拶があり、引き続き、六ヶ所村企画防災部門原子力対策課の吉岡課長補佐から『六ヶ所村地域防災計画に基づく航空災害対策について』の講話及び航空自衛隊三沢基地第3航空団の上垣防衛部長から「航空自衛隊における航空機事故対応について」の講話が行われ、最後に、当局の畑中業務課長から、『米軍航空機事故が発生した場合の通報訓練等の実施』について説明を行いました。

会議終了後は、航空自衛隊三沢基地の協力を得て、同基地所属F-16戦闘機の見学が行われました。



25関係機関約50名が出席



挨拶する平松企画部長



被害現場の映像を確認する対策本部



現地職員へ被害状況を確認する齋藤本部長

米軍航空機事故対処訓練

航空事故連絡協議会

種市三沢市長へ防衛大臣感謝状

10月25日、ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）で平成26年度防衛大臣感謝状贈呈式が開催され、江渡聡徳防衛大臣から種市一正三沢市長へ感謝状が贈呈されました。

種市市長は、三沢飛行場や三沢対地射撃場という重要な防衛施設を抱える地方公共団体の首長として国防の重要性を深く認識するとともに、国防の意義について民意を啓発し、積極的に地域住民への理解を深化させ、さらに、地域住民の意向をとりまとめるなど防衛施設の安定的な運用の確立に寄与しました。

特に、三沢飛行場における、航空自衛隊F-35Aの配備計画、米空軍グローバル・ホークの一時展開、三沢対地射撃場における、米軍再編に係る訓練移転に伴う対地射撃訓練の受入れなど、最近の米軍による様々な運用態様の変更について、地域住民に対し鋭意説明を行い、理解と協力を求めるなど施設の安定的な運用の確保に寄与し、防衛省業務の円滑な遂行に多大なる貢献を果たし、その功績を高く評価されたものです。



江渡防衛大臣（右）から受賞する種市市長（左）



受賞した種市市長（中央）と江渡防衛大臣（右）

斗賀東北町長へ局長感謝状

11月5日、東北町役場（青森県東北町）で齋藤雅一東北防衛局長から斗賀壽一東北町長へ感謝状を贈呈しました。

斗賀町長は、三沢飛行場、三沢対地射撃場及び航空自衛隊第4補給処東北支処と重要な防衛施設の所在又は周辺地方公共団体の首長として、最近の自衛隊・米軍による様々な運用の態様の変更について地域住民の意向を取りまとめるなど防衛施設の安定使用に寄与し、その功績を高く評価したものです。



齋藤局長（前列右）から受賞する斗賀町長（前列左）

在日米軍従業員永年勤続者を祝福

10月24日、米軍三沢基地内（青森県三沢市）で平成26年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

式典では、齋藤雅一東北防衛局長、アンドリューP.ハンセン米空軍第35戦闘航空団副司令官及びキースM.ヘンリー米海軍三沢航空基地隊司令より受賞者の代表に表彰状及び記念品が授与され、10年、20年、30年及び40年の勤続者82名を祝福しました。



表彰状を授与する齋藤局長

江渡防衛大臣東北防衛局視察

11月7日、江渡聡徳防衛大臣による視察が行われ、齋藤雅一局長をはじめとする幹部職員との意見交換が行われました。

齋藤局長からは、運用態様の変更による三沢飛行場及び三沢対地射撃場における諸問題、王城寺原演習場周辺における指定廃棄物最終処分場候補地及び自衛隊施設の除染や建設工事に係る諸問題について概況説明が行われました。

その後、意見交換が行われ、江渡大臣から「東北管内には、基地、駐屯地さまざまな部隊が所在しており、自治体との共存共栄を築いていくことが重要であり、そういった形を継続させていくためにも、いろいろ大変だと思うが、局長のご尽力に期待している。」との発言があるなど有意義なものとなりました。

江渡大臣は、翌日、陸上自衛隊東北方面隊が実施した震災対処訓練「みちのくALERT2014」でオスプレイに搭乗され、訓練の状況を視察されました。



江渡大臣（右）と意見交換する齋藤局長（右から二人目）



江渡大臣（前列中央）と東北防衛局幹部職員



MV-22オスプレイの搭乗を終え降機する江渡大臣（左）



視察後、記者会見をする江渡大臣（左から三人目）

県知事などへ防衛白書を説明

東北防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、自衛隊地方協力本部等と協力し、防衛白書の説明を行っております。平成26年版防衛白書に関しては、9月2日から地方公共団体等への説明を行うとともに連携強化に努め、11月5日をもって、東北各県知事をはじめとする関係地方公共団体等への白書説明を終えました。



齋藤局長 (左) から説明を受ける
三村青森県知事 (中央)

防衛省・自衛隊への協力に感謝

10月28日、山形県東根市で全国市議会議長会基地協議会東北部会第22回定期総会が開催され、齋藤雅一東北防衛局長が出席しました。

総会では、齋藤局長が「防衛施設の機能を十分に発揮させるためには、周辺地域との調和を図り、周辺住民の理解と協力を得て、常に安定して使用できる状態に維持することが肝要。皆様のご理解・ご協力により、防衛施設の安定的使用が図られている。」と感謝の意を込めて祝辞を述べました。



祝辞を述べる齋藤局長

仲間が増えました

私は、本年11月1日付で調達部調達計画課に採用となり、防衛施設の建設工事に関する業務を行っています。

当課は、部内の若い職員が調整等で頻繁に出入りするためか、非常に明るく活気があり、職場の雰囲気にも少しずつ慣れてきました。

採用されてから間もないため、分からないことばかりですが、一日でも早く業務を理解し、自ら計画立案等を行うことができるよう頑張ります。



小林 明日翔 防衛技官

北東北の守りの「かなめ」完成

10月末、第9師団司令部庁舎（鉄筋コンクリート造3階建て延べ床面積約3,400㎡）が陸上自衛隊青森駐屯地（青森県青森市）に完成しました。

本庁舎は、北東北（青森県、岩手県、秋田県）に所在する14の部隊約6,000人の防衛、警備、災害派遣などの作戦全般を指揮し、作戦行動を統括する拠点です。情報の集約・分析などの環境が整備され、各種事態対応の迅速化が可能となり、より一層皆様の期待に応えることができるようになりました。



完成した第9師団司令部庁舎

油船「Y041」進水

10月20日、株式会社北浜造船鉄工（青森県青森市）で建造中の油船が進水しました。

本船は、海上自衛隊基地港湾内で各種艦船に対し、艦船用燃料の補給を行う支援船で、今後、海上公試験などを経て、大湊地方隊（青森県むつ市）に配備される予定です。

郡山防衛事務所は、東北6県に所在する工場で製造する各種防衛装備品の監督・検査を担当しており、郡山防衛事務所長（栗原眞喜子 1等陸佐）が本船の関係者とともに進水式に出席しました。

進水式は、株式会社北浜造船鉄工構内において厳粛に執り行われ、本船を受領する予定の大湊地方警備隊司令（小杉正博 1等海佐）による命名の儀に続き、栗原所長による進水の儀が行われ、支綱が切断されると船は静かにゆっくりと陸奥湾に進水しました。

栗原所長は、「海上自衛隊艦船の進水式に参加でき、支綱切断という機会に恵まれ大変光栄です。進水に際しても船上においては担当の検査官が確認を適正に遂行しており、今後は、艀装などの結節時に監督・検査を適正に実施し、部隊に引き渡したい」と話しました。



むつ湾に進水する油船「Y041」



支綱を切断する栗原郡山防衛事務所長

防衛セミナー開催

10月9日、滝沢ふるさと交流館（岩手県滝沢市）で防衛セミナーを開催し、柳村典秀滝沢市長をはじめ約150人の方にお越しいただきました。

セミナーでは、はじめに岩手大学地域防災センターの越野修三専任教授が『東日本大震災における自衛隊との連携』と題し、岩手県防災危機管理監として対応した東日本大震災について紹介したほか、自身が自衛官として経験した阪神淡路大震災での教訓を踏まえた岩手県での平素からの取組み、自衛隊を理解するポイントなどについて講演されました。

続いて、第9特科連隊長（兼）岩手駐屯地司令の松本英樹 1等陸佐が『陸上自衛隊の災害派遣』と題し、全国の陸上自衛隊で常時約2,800人の隊員、約610両の車両、約31機のヘリコプターが待機していることや、岩手駐屯地においても平素から要員を指定し、同様に待機していること、また、迅速な初動対応と災害派遣能力強化を図るため防災訓練等へ参加していること等について講演されました。

聴講者からは、「自衛隊の役割・重要さが分かった。特に災害派遣の活躍ぶりはすばらしいと感じた。」などの感想が寄せられました。



越野専任教授



松本1等陸佐

東北防衛局が送るラジオ番組

東北防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、防衛政策や自衛隊・米軍の活動状況等について、短時間で分かりやすく伝えるラジオ番組、「日本の防衛Q & A」などを以下のとおり放送しております。最近の放送内容としては、平成26年版防衛白書の見所や、「災害と自衛隊との関わり」を取り上げた防衛セミナーの内容を紹介し、経験豊富な実務者の視点を活かした盛りだくさんな内容となっています。過去には、防衛局で働く若手職員による業務内容の説明や、防衛大臣へのインタビューなども放送しており、今後も、基本的な防衛政策からニュースを脈絡させている防衛課題まで、様々な話題を幅広く放送する予定ですので、是非ともお聞きください。



「日本の防衛Q & A」放送日

青森県

放送局	周波数	1月	2月	3月
FM Azur	76.2MHz	1/27 9:35	2/24 9:35	3/31 9:35
Be FM	76.5MHz	1/25 8:50	2/22 8:50	3/29 8:50
FMジャイゴ ウェーブ	76.3MHz	1/6 13:30	2/3 13:30	3/3 13:30
FMアップルウェーブ	78.8MHz	1/17 10:15	2/21 10:15	3/21 10:15

岩手県

放送局	周波数	1月	2月	3月
ラヂオもりおか	76.9MHz	1/3 7:30	2/7 7:30	3/7 7:30
奥州エフエム	77.8MHz	1/3 11:30	2/7 11:30	3/7 11:30
FM one	78.7MHz	1/12 11:45	2/9 11:45	3/9 11:45
みやこハーバーラジオ	82.6MHz	未定	未定	未定

秋田県

放送局	周波数	1月	2月	3月
ACB秋田コミュニティー放送	76.5MHz	1/2 13:15	2/6 13:15	3/6 13:15
FMゆーとびあ	76.3MHz	1/4 11:30	2/1 11:30	3/1 11:30
エフエム椿台	76.9MHz	1/5 12:00	2/2 12:00	3/2 12:00

山形県

放送局	周波数	1月	2月	3月
ラジオモンスター	76.2MHz	1/15 9:30	2/19 9:30	3/19 9:30
ハーバーRADIO	76.1MHz	1/4 12:00	2/1 12:00	3/1 12:00
よねざわNCVエフエム	83.4MHz	1/24 9:50	2/28 9:50	3/28 9:50

その他の番組については、以下のホームページで確認してください。

○自衛隊インビテーション (自衛隊宮城地方協力本部)
<http://www.mod.go.jp/pco/miyagi/inbite/inbiteshon.html>

○自衛隊百科 (ラジオモンスター)
<http://www.fm762.co.jp/t2.htm>

宮城県

放送局	周波数	1月	2月	3月
仙台ラジオ3	76.2MHz	1/28 15:40	2/25 15:40	3/25 15:40
BAY FM	78.1MHz	1/5 9:45	2/2 9:45	3/2 9:45
ラジオ石巻	76.4MHz	1/14 14:30	2/11 14:30	3/11 14:30
ほほえみ	77.9MHz	1/13 7:45	2/10 7:45	3/10 7:45
FMいずみ	79.7MHz	1/28 14:00	2/25 14:00	3/25 14:00
H@IFM	76.7MHz	1/3 14:49	2/7 14:49	3/7 14:49

福島県

放送局	周波数	1月	2月	3月
FM ポコ	76.2MHz	1/7 12:48	2/4 12:48	3/4 12:48
SEA WAVE FM いわき	76.2MHz	1/7 8:28	2/4 8:28	3/4 8:28
FM 愛'S	76.2MHz	1/6 18:20	2/3 18:20	3/3 18:20
FM きたかた	78.2MHz	1/3 9:00	2/7 9:00	3/7 9:00
エフエム モットコム	77.7MHz	1/2 13:10	2/6 13:10	3/6 13:10

第3回 Misawa アイスホッケー開催!!

1月17日(土)に三沢アイスアリーナ(青森県三沢市)において「第3回Misawaアイスホッケー」のイベントを開催します。このイベントは、三沢基地及びその周辺に住む日米の小学生たちが、三沢市の特産物を模した道具を使い、アイスホッケーで競い合う催しで、日米の相互理解や協力の深化を願って行うものです。昨年の第2回大会では、にんにくヘルメットをかぶった子供たちが、長芋スティックを持ち、氷上をつるつる滑りながらもホッキ貝型パックを追いかける姿に歓声や笑い声が上がりました。東北防衛局では、今大会を更に盛り上げるべく準備を進めてまいりますので、多くの方々の参加をお待ちしております。



お問い合わせ先：東北防衛局企画部地方調整課 (TEL：022-297-8212)
 東北防衛局三沢防衛事務所施設課 (TEL：0176-53-3118)

東北の主な自衛隊広報行事

自衛隊(東北管内)が今後予定している主な広報行事等は次のとおりです。足を運んでみてはいかがでしょうか。

区分	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
陸	1月19日(月)	東北方面音楽隊 第37回青少年コンサート	日立システムズホール仙台 (宮城県仙台市)	東北方面音楽隊 022-231-1111 (3572)
陸	1月24日(土)	第37回福島自衛隊音楽の夕べ	福島県文化センター (福島県福島市)	福島駐屯地広報室 024-593-1212 (204)
地本	1月25日(日)	「美の国あきた」 新春自衛隊演奏会2015	秋田県民会館 (秋田県秋田市)	自衛隊秋田地方協力本部 018-823-5404
陸	2月14日(土)	第10回第6師団音楽まつり	やまぎんホール (山形県山形市)	第6師団司令部広報室 0237-48-1151 (5374)
陸	3月5日(木)	第31回自衛隊郡山音楽祭	郡山市民文化センター (福島県郡山市)	郡山駐屯地広報班 024-951-0225 (283)
陸	3月7日(土)	第9師団第37回定期演奏会	リンクステーションホール青森 (青森県青森市)	第9師団司令部広報室 017-781-0161 (6054)
陸	3月7日(土)	東北方面音楽隊 第51回定期演奏会	東京エレクトロンホール宮城 (宮城県仙台市)	東北方面総監部広報室 022-231-1111 (2373)
陸	3月14日(土)	岩手駐屯地定期演奏会	盛岡市民文化会館 (岩手県盛岡市)	岩手駐屯地広報班 019-688-4311 (256)

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。